

取扱い説明書

1/2

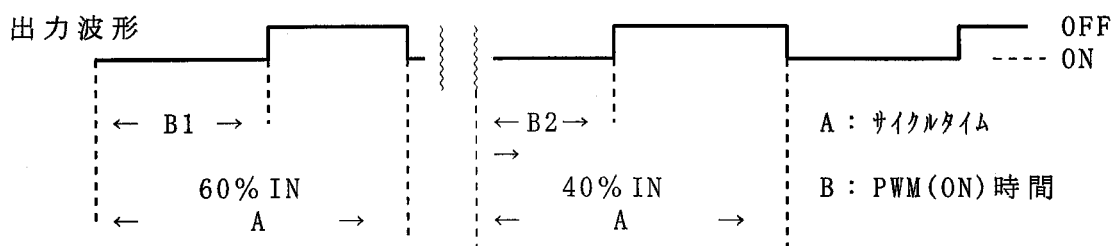
直流／パルス幅変換器（WAP-VPM-13C-1）はアナログ入力を入力に比例したパルス幅変調出力に変換する信号変換器です。

端子配列図に示すように電源を⑦、⑧番端子に入力を③、④番端子に出力を①、②番端子に接続して下さい。フロントパネル面からロータリースイッチを小型ドライバー等で操作し、パルス幅変調の一周期（サイクルタイム）をケース2秒×1～×9の範囲で設定して下さい。例えばN=2に設定するとサイクルタイムは4秒になります。

入力信号と出力信号の関係は1サイクルタイム毎に入力信号を取り込みその値に比例したパルス幅変調出力（PWM(ON)時間）を出力します。

もし入力と出力の関係を調整または、簡易的にキャリブレーションしたい場合は0～+5Vの入力に対して⑥、⑤端子間電圧が0～-10Vになるようにゼロ及びスパンポットを調整して下さい。⑥、⑤端子間に電圧を印加する事は絶対に行ないで下さい。

$$\text{PWM(ON)時間} = \text{サイクルタイム} \times \text{入力}(\%) \div 100$$

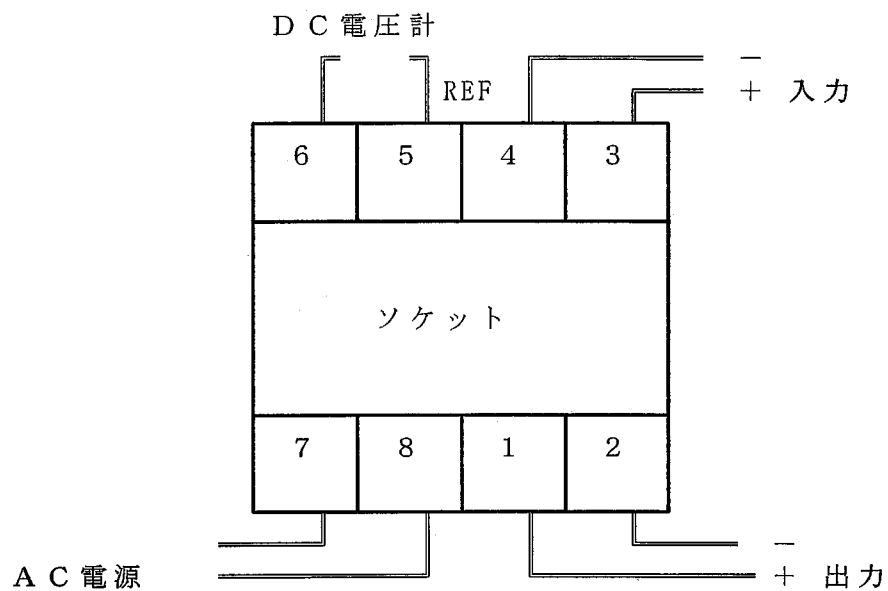


出力回路はオープンコレクタ出力で、回路電圧MAX DC 30V、シンク電流MAX 30mA使用して下さい。出力トランジスタのON時残留電圧は0.4V以下で、ON出力時はフロントパネルのLEDランプが同期して点灯します。

主要スペック

分解能	サイクルタイム ÷ 4000
精度	± 0.2 % f s (23℃にて)
直線性	± 0.1 % f s
入力範囲	0～5V (有効入力範囲 0.3～100 % f s)
時間基準	水晶発振器 周波数偏差 ± 50 PPM
周囲温度の影響	10℃の温度変化に対して ± 0.15 % f s
使用温湿度	-5～+55℃ 90 % RH以下 (結露ない事)
絶縁	アナログ入力／PWM出力／電源各々間 100 MΩ (DC 500Vメガーにて)
耐圧	アナログ入力／PWM出力／電源各々間 AC 2000V 1分間
消費電力	約 4 VA
電源電圧	AC 100V ± 10 % (50 / 60 Hz)
ゼロ、スパン調整	ゼロ調整 ± 5 % f s、スパン調整 ± 5 % f s

端子配列



ケースフロントパネル

